

香川県感染症週報

2019 年第 27 号 (12/Jul/2019 発行)

Infectious Disease Weekly Report Kagawa

Reported by Infectious Disease Information Center Kagawa

◆ 2019 年 第 27 週 (7/1~7/7) の感染症発生動向 (届出数)

手足口病流行警報発令中!

■ 全数把握感染症の発生状況

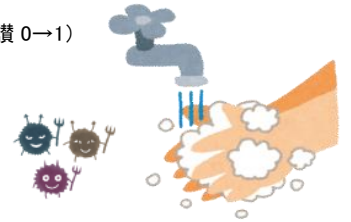
- 1 類感染症 なし
- 2 類感染症 結核 (高松 2 件、中讃 1 件)
- 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 (中讃 1 件)
- 4 類感染症 日本紅斑熱 (小豆 1 件)
- 5 類感染症 梅毒 (中讃 1 件)、百日咳 (高松 1 件、中讃 2 件、西讃 1 件)
風しん (小豆 1 件)

感染症予防の基本は手洗いから!
調理時や食事の前、トイレの後は石けんと流水
でしっかり手を洗いましょう。

修正 第 25 週 2 類感染症 4→5 (結核 中讃 3→4)、第 26 週 3 類感染症 2→3 (腸管出血性大腸菌感染症 中讃 0→1)

■ 定点把握感染症の発生状況 ☆ 比較は定点あたりの人数による

- 手足口病の流行警報が続いています。
石けんと流水でしっかり手洗いをして、タオルやコップの共用は避けましょう
- 感染性胃腸炎 (ウイルス) の報告が続いています。
調理や食事の前、トイレの後には、こまめな手洗いをこころがけましょう。



2019 年第 27 週の感染症発生動向調査による報告患者総数は 888 人で、前週 (694 人) の 128.0% となった。

1. 手足口病の報告は、県全体 (11.1→17.1) で増加している。小豆地区以外のすべての地区で定点当たりの患者数が警報レベル (5.0) を超えている。
2. 感染性胃腸炎 (ウイルス) の報告は、県全体 (5.3→5.7) で増加している。
3. ヘルパンギーナの報告は、県全体 (3.2→3.7) で増加している。中讃地区 (5.0→6.3) では定点当たりの患者数が警報レベル (6.0) を超えている。西讃地区 (4.3→3.3) は警報終息基準値 (2.0) を上回っており、流行が続いている。
4. A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告は、県全体 (2.1→1.8) で減少している。
5. 伝染性紅斑の報告は、県全体 (0.7→1.0) で増加している。

◆ 今週の上位疾患 (小児科定点からの法定届出疾病)

疾患名	今週	前週	前週比	過去 5 週の平均	過去 10 年の平均	全県	高松市	小豆	東讃	中讃	西讃
① 手足口病	17.1 人	11.1 人	154.0%	4.4 人	4.0 人	◎↗	◎↗	・・	◎↗	◎↑	◎↗
② 感染性胃腸炎 (ウイルス)	5.7 人	5.3 人	107.4%	7.9 人	4.9 人	○↗	○→	○↘	○↘	○↗	○↗
③ ヘルパンギーナ	3.7 人	3.2 人	115.6%	1.5 人	2.7 人	○↗	○↗	・・	△↘	◎↗	◎↘
④ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.8 人	2.1 人	84.7%	2.3 人	1.4 人	○↘	○↘	○↗	△↗	○↗	○↘
⑤ 伝染性紅斑	1.0 人	0.7 人	145.0%	0.6 人	0.2 人	○↗	△→	・・	・・	○↗	○↑

記号の説明 今週の流行状況: ◎流行 (警報レベルに達している) ○やや流行 △散発 ・患者発生報告無し
前週との比較: ↑急増 ↗増加 ↘減少 ↓急減 →横ばい ・報告無し

◆ 病原微生物検出情報

細菌	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	備考
なし						

ウイルス	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	備考
Human metapneumovirus	咽頭	2019/6/21	東讃	下気道炎	遺伝子検査	
Rhinovirus	咽頭	2019/6/26	東讃	不明熱	遺伝子検査	

◆ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) 感染症 耐性遺伝子検出情報

菌種名	検体	検体採取日	地区	臨床診断 (症状)	耐性遺伝子	備考
なし						

気象週報 第 27 週の平均気温: 25.2℃ (過去の 30 年の平均気温: 25.6℃) 平均湿度: 76.4%

